

令和2年度使用教科用図書採択に係る会議録
(平成31年度第4回下呂市教育委員会において)

1 期 日 令和元年7月19日(金) 14:40～

2 会 場 北部学校給食センター 研修室

3 出席者 教 育 長 細 田 芳 充
委 員 小 口 晃 生
委 員 富 永 京 子
委 員 河 尻 明 子
委 員 細 江 洋 一 郎
委 員 三 木 朋 哉

4 委員の他出席者 教 育 部 長 今 井 藤 夫
学校教育課長 野 尻 康 之
教育総務課 細 江 実

5 議 事

下呂市立小・中学校で令和2年度において使用する教科用図書の採択について

教 育 長 日程第7、議第16号 下呂市立小・中学校で令和2年度において使用する教科用図書の採択について議題とします。議事に入ります前に、この議第16号につきましては、下呂市情報公開条例第7条第5項及び6項に則って令和元年8月31日まで非公開とすることが適当と思われるので、地教行法第14条7項ただし書きの規定により、令和元年8月31日まで公開しないこととしたいと思えます。議題16号につきまして、令和元年年8月31日まで公開しないこととすることにご異議ございませんか。

(委員全員 異議なし)

教 育 長 議題16号につきまして、令和元年30年8月31日まで公開しないこととすることにいたします。それでは事務局の説明を求めます。

(学校教育課長説明 飛騨地区で採択された教科書を教科別に説明 国語)

教 育 長 ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございませんか。教科ごとに説明し、意見をいただきたいと思えます。

河尻委員 とてもわかりやすい教科書だと思います。見て、考え方まで導かれるような教科書です。発表の仕方の例というか、言葉で発表しましょうというような形になっています。空いたところに自分の意見を当てはめて文章を作るといふようなところまで支援されるようで、それが身につけば様々な教科で発表することに活かしていけるのかなと思いました。

教育長 ありがとうございます。

富永委員 書写は、書くのは直接教科書に書くのではなく、この教科書に沿ったノートなどに書くのですか。

学校教育課長 補助教材として、そのようなノートを購入するか、購入しない場合には担任がプリントを作って授業をするという形です。硬筆の授業では特にそうなります。毛筆の場合には、半紙等に書きます。

教育長 硬筆の場合、ノートを使うとその枠は、二度目ができなくなりますので、プリントを渡していることもあります。

三木委員 ICTを活用した学習ですが、QRコードは今後、学校の先生や家の人と一緒に使うようにしてくださいとあります。学校内で使う場合、どのような使い方を予定されていますか。

学校教育課長 タブレットの購入などを考えています。タブレットはWi-Fi環境があれば簡単に使用できます。QRコードを読み取ると、例えば理科であれば動画が見られます。種の発芽の内容であれば、種が発芽し、成長していく様子がタブレットの画面に出てくるというものです。その画面をプロジェクターで映すということも可能です。ICTの環境が家庭によって違うという問題点もあるとは思いますが、授業だけでなく、家族の方と家における学習にも使えるという利点もあります。QRコードは全ての教科書についています。

河尻委員 筆使いも見られますね。

学校教育課長 そうです。

教育長 算数などでは、お母さん方が自宅で子どもに何か教えたいというとき、どうしたらいいかというヒントもあります。例えば、小学校1年生の最初に1から10までの数を覚えようというとき、こういったトランプゲームをしたら面白いですよということで、足して10になったらトランプが減るというようなババ抜きを少し変えたゲームの紹介などもあります。

(学校教育課長 資料に基づき 社会について説明)

三木委員 3年生から6年生まで4年間使うということですが、紙質などは各会社によって違いますか。ランドセルに出し入れする際に擦れたり、破れたり、4年間同じものを使うという場合、どの程度紙質が加味されていますか。

学校教育課長 別紙資料にある「着眼点」として、教科書の厚み、重量、文字の大きさ等が記されています。紙質までは書かれていません。

教育長 地図帳は2社ありますので、触って比べてみてください。

学校教育課長 違いはほぼないと思います。

河尻委員 教科書イコール重いという先入観がありますが、いかがでしょうか。

教育長 ページ数が増えたことで分量が多くなっていますが、重いということが話題になっていますので、若干軽量化の方向にはあります。

河尻委員 学校に置いていくことが許されている学校も増えてきていると思いますが、地図帳は置いていくことが多くなるのでしょうか。

教育長 家庭学習に使わないときは置いていってよいという話しはしています。

学校教育課長 置いていくものの一つが地図帳です。

教育長 綺麗になって、見やすくなって、写真が増えた反面、紙はもちろん多くなって分厚くなっています。大きさも違いますし、上・下になっているものや上・下あわせて1冊になっているものもあります。

学校教育課長 国語を調べました。例で言うと、現在使っている1年生の国語の教科書は270グラムです。今回新しくされた教科書は、250グラムです。20グラム軽くなりました。逆に、理科の3年生の教科書は360グラムだったものが、今回新しくされたものは420グラムです。60グラム増えました。60グラムは新品の付箋くらいの重さなので、さほど感じないくらいの差です。理科に関しては、資料が豊富になったり、写真が入ったりしている分、どうしても厚みが出てしまうということと、サイズが大きくなってしまいます。他の教科書と比べても全然違います。図や写真をよりよく見せようという理由があります。そこで、60グラムプラスということになったと思います。

河尻委員 ランドセルも軽く大きくなりましたね。

学校教育課長 今から検討していただく算数などは、全ての教科書の重さが資料に記載されています。今、大きさも重さも採択の着眼点の一つになっています。

(学校教育課長 資料に基づき 算数について説明)

三木委員 子どもがこんなふうを考えましようとか、授業の展開がガイドラインのように書いてあって良いという面は、その教科書を使って指導する先生に対しても配慮されているという面も選定理由なののでしょうか。

学校教育課長 これは教師サイドというよりも、主に子どもの側に立って調査・研究した結果であって、子どもたちがどのように学んでいくかというところが評価されたということです。

三木委員 その結果、補足したものを先生方が読んで、汲み取って授業されていくということも、結果的にはあるということですか。

学校教育課長 今までも、これと同じような形で、教師が授業を組み立てていますが、それをより子どもたちに明確に伝わるというところがこの教科書の良さです。

富永委員 目当てとかよく黒板に先生が書いていますが、読み込める子と読み込めない子の力の差が出てきますよね。

教育長 文章の読解力の差になりますが、教科書にガイドのように書いてあっても、読解力が必要になります。子どもに分かるように工夫して書かれていると思います。

河尻委員 教科書では、ウサギがヒントを出していますが、他の学年でも全部ウサギ

がついていました。この考え方の取っ掛かりが最初から表示してあると、子どもが悩んで見つけていくところが、短縮されるのではないかと思います。いい意味では、分かりやすくなっていますが、考えることが減るのは、いいことなのでしょうか。

学校教育課長 このウサギのキャラクターのヒントが出てくるところは、一時間の授業の中で言うと、最後のところですよ。自分で考えながらずっと学んできた、次の発展問題にチャレンジしようというときに、どんどん発展問題を進めていける子と、「今日学んだけど、どう活かすのだろう」と少し悩んでしまう子がいます。そのときにウサギが登場して、「ここに立ち返るといいよ」というヒントの与え方になっています。最初からヒントを与えているわけではないです。

富永委員 教科書というより、教科書と参考書が一緒になったような感じですね。この教科書をすごく一生懸命やれば、塾はいらないですね。

教育長 以前と一番大きな違いは、子どもが、先生がいなくても自分で家に帰って教科書を開いたとき、思い起こすことや、新しいページでも自分で学びができるような補助があるものが増えています。そのために量が増えました。一番のポイントがそこです。自ら追求できる部分や、自ら振り返ることができるような部分が増えたことが一番大きいです。

河尻委員 学校の授業で、しっかり納得できていないとしても、家に帰って見たときに、「そういえば、あんなこと先生が言っていたな」と、この部分を見て、もう一度自分で学び直しができるということですね。

教育長 授業でもしっかり学びますが、それでも人間は時間が経つと忘れますので、この部分を活用していただければと思います。

富永委員 算数の188ページは、まさに私たちも学校訪問の際見た授業です。AさんとBさんのやり方はどうなのかという問題を、またもう一度自分で解いてみると、それが絵として出てきているので、分かりやすいのかなと思います。

(学校教育課長 資料に基づき 理科について説明)

富永委員 字と絵だけでなく、余白がちゃんとあるので見やすいです。子どもたちには、内容が入ってきやすいのではないかと思います。

教育長 フォントの違いや本文と説明分字の大きさの違いがあつていいと思います。

学校教育課長 ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインの授業などと言いますが、余白や色合いも研究の着眼点として挙げられています。この教科書の場合、落ち着いた色でまとめられているといった研究の結果です。

河尻委員 パラパラと教科書を見ましたが、黄色やクリームが多く、赤が少ないですね。

学校教育課長 優しい感じがするようになっています。

河尻委員 背景の色も淡い色になっています。赤とかもあまり出でこないです。

学校教育課長 余白を多くするという意味で、先程言いましたように、サイズが少し、いま使っている教科書よりは大きくなっています。

三木委員 もし視覚に障がいがあっても、色で判断しなくてはいけないときに、これだったら見えるという色を使っているとありがたいなと個人的に思います。

学校教育課長 今、色覚チョークというものがあり、視覚に障がいがある子どもたちでも黒板が見やすいというチョークがあります。いま、多くの学校が取り入れています。緑の黒板に対して見やすい色ということです。

(学校教育課長 資料に基づき 音楽について説明)

(学校教育課長 資料に基づき 図画工作について説明)

(学校教育課長 資料に基づき 家庭科について説明)

河尻委員 家庭科には、片付けるという項目が入っていることが良いですね。最初から最後まで、食べて終わりではなく、環境問題も入っていることです。お母さんたち、面倒で少ない油だと流してしまうことがあります。子どもさんが覚えてくると、家でお弁当の日など、一緒に台所に立つときに、「こうやってやるんだよ」と言えば、大人の方が子どもから教えてもらえることもあっていいと思います。洗剤を使いすぎないということも大事なことです。

(学校教育課長 資料に基づき 体育・保健について説明)

(学校教育課長 資料に基づき 生活について説明)

富永委員 肌の色の違いを学習できることはいいことですね。

(学校教育課長 資料に基づき 外国語について説明)

富永委員 英語教育は5年生からですか。

教育長 はい。英語の教科は5、6年生です。

小口委員 英語の教科書が採択されるのは、これが初めてです。

河尻委員 英語の教科が始まるのに合わせて、先生方の英語の教え方についての勉強や研修会はありますか。

学校教育課長 あります。今までも外国語活動という事でやっていましたが、今度は英語の教科化になりました。今年度、2年間指定で、竹原小学校が英語の教科スタートアップの指定を受けています。11月に公表会をします。見ただくとどのように授業をするのか分かっていただけたらと思います。

(学校教育課長 資料に基づき 道徳について説明)

教育長 今までの教科についてでも結構です。ご意見をお伺いします。

細江委員 どの教科も見やすいです。見た目的に本当にいいと思います。字も大きいですね。

河尻委員 子どもに聞かれたときに、親も教えやすい、理解しやすいような教科書で

すね。

細江委員 昔の小学校の教科書は小さかったですよね。

学校教育課長 B5で厚かったですね。

三木委員 今、読むときは教科書を持たせますか？

学校教育課長 音読などは持たせます。机の上に立てて読ませます。

教育長 その他、ご質問等はありませんか。

(質問等なし)

教育長 日程第7、議第16号 下呂市立小・中学校で令和2年度において使用する教科用図書の採択について承認される方は挙手願います。

(全員挙手)

教育長 全員挙手、承認といたします。

公正確保のために、8月31日までは非公開という事になっておりますので、よろしく願います。9月1日からは積極的に情報公開をしなければいけないということになっておりますので、例年通りホームページにて、本日の議事録を公開することになっております。よろしく願います。